

国際情勢をめぐる現状

コロナ禍からの持続可能な回復に向け…

世界経済の落ち込み 国内産業への打撃 雇用情勢の悪化

DXの加速化 デジタルの遅れが顕在化
コミュニケーションの在り方の変化
働き方・学び方の転換

「未来の東京」戦略
目指す2040年代の東京の姿

ビジョン02 教育
・グローバルに活躍する人材を輩出

ビジョン06 多様性
・世界で最も外国人が暮らしやすいまち
・日本と外国の子供が価値観を共有し合い、共に学ぶ

ビジョン13 ビジネス・研究開発
・優秀な留学生が集まり、イノベーション人材を多数輩出 など

世界的なサプライチェーンの混乱
ウクライナ情勢に端を
発するエネルギー問題等

国際競争の新たな局面をとらえ、 世界をリードする国際都市へ

日本の現状

▶ 英語能力指数ランキング (第2021版 EF English Proficiency Index)

日本 **78位** / 112か国・地域中

- ・2020年は100か国中55位
- ・調査開始以来初めて下位3分の1のグループに位置し、英語力が「低い」とされるレベルに

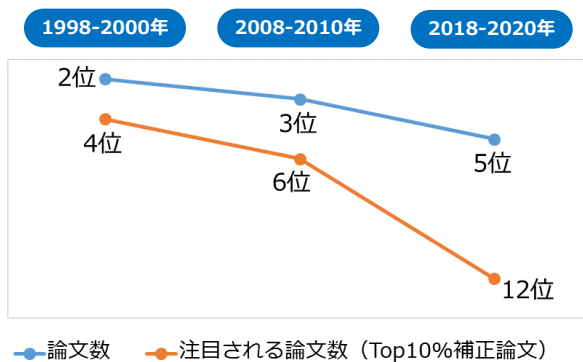
日本 **13位** / アジア24か国中

- ・アジアの上位国
 - 1位 シンガポール (全体4位)
 - 2位 フィリピン (全体18位)
 - 3位 マレーシア (全体28位)

・「高い」英語力とは「仕事で英語プレゼンテーションを行うことができる」レベル
・「低い」英語力とは「同僚とちょっとした会話ができる」レベル

日本の現状

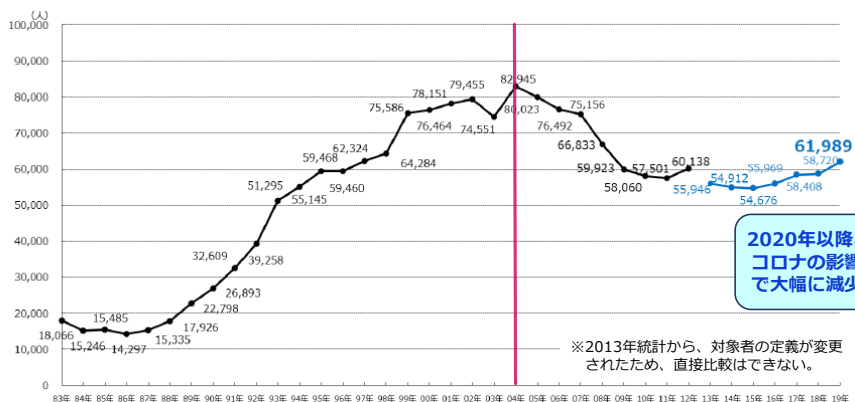
▶ 研究論文数の順位 (科学技術指標2022 科学技術・学術政策研究所)



- 1998-2000年、2008-2010年は、論文数、注目される論文数いずれも米国が1位
- 2018-2020年は、いずれも中国が1位

日本の現状

▶ 日本人の海外留学者数 (※主に学位取得を目的としたもの。OECD等の海外機関による2019年統計)



- 留学する日本人の数は2004年をピークに3割減少。近年は微増していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症流行により98%の大幅な減少
- 我が国を除く諸外国の海外留学者数は、2002年以降増加傾向

実践的な英語力向上に向けた取組

▶ これまでの取組

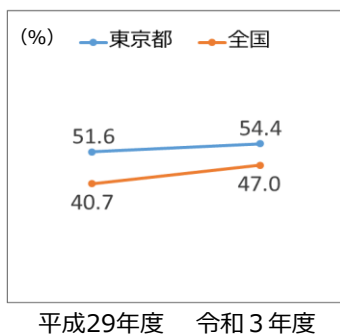
TOKYO GLOBAL GATEWAY
JETプログラム
TOKYO ENGLISH CHANNEL
中学校英語スピーキングテスト
国際バカロレアの取組の推進
教員の海外派遣研修 など



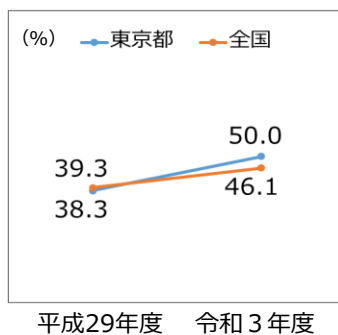
実践的な英語力向上に向けた取組

▶ 公立学校の生徒の英語力

CEFR A1相当以上の
中学生



CEFR A2相当以上の
高校生



- ・一定の英語力を持つ生徒が増加
- ・東京都は、全国平均を上回っている

実践的な英語力向上に向けた取組

▶ 国際バカロレアコースの成果

国際バカロレア資格取得率と平均スコア

	H30.3卒	H31.3卒	R2.3卒	R3.3卒	R4.3卒
	第1期生	第2期生	第3期生	第4期生	第5期生
在籍数	19人	19人	18人	22人	18人
資格取得率 (%)	89.5 (69.6)	84.2 (69.0)	100 (69.9)	100 (75.8)	100 (87.1)
平均スコア (点)	31.0 (28.8)	31.6 (28.6)	36.3 (28.5)	37.8 (29.6)	40.4 (32.4)

※ () 内は世界平均参考値

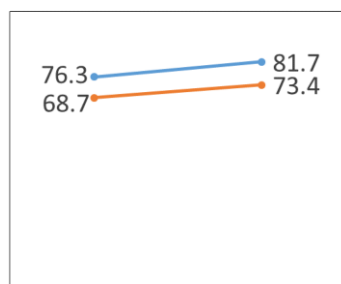
- ・国際バカロレア資格取得率は、第3期生以降100%で世界平均を上回る
- ・平均スコア（45点満点）は、毎年度世界平均を上回る
- ・世界大学ランキング上位の海外大学に毎年度多数合格

実践的な英語力向上に向けた取組

▶ 英語の授業中、発話の半分以上を英語で行う教員

中学校

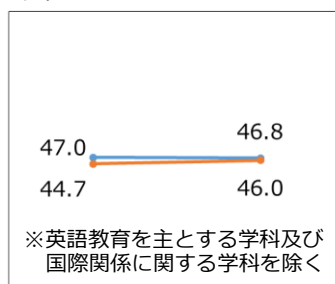
(%) — 東京都 — 全国



平成29年度 令和3年度

高校

(%) — 東京都 — 全国



平成29年度 令和3年度

※英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く

- ・発話の半分以上を英語で行う教員が、特に中学校で増加

実践的な英語力向上に向けた取組

令和4年度
の新規事業

Tokyo GLOBAL Student Navi

目的

いつでも、どこでも、誰でも、英語に関する個別最適な学びができ、グローバル人材育成に係る情報や都の取組について知ることができるポータルサイトを開設し、積極的な学びを喚起する。

いつでも・どこでも・誰でも
学べるポータルサイト

世界を舞台に
仕事をしたい！

英語の教員に
なりたい！

英語を学べる教材は
ないかしら？

自分で英語の
勉強をしたい！

グローバル人材育成に
関する都の取組を
知りたい！

留学して海外で
学んでみたい！

学習者へのナビゲーション

- ・オンラインで学べる**学習教材**
- ・**検索機能**で情報にアクセス
- ・オンライン**イベント**
- ・**チャットボット**

都の取組のプロモーション

- ・**プロモーション動画**
都の英語教育・国際教育を発信
- ・**インタビュー動画**
都立高校生のスピーキング動画
卒業生のインタビュー動画
- ・**都の施設や学校の紹介**

ジャンル × 学年 から
調べ、興味のある英語教材を
見つけよう！

TOKYO ENGLISH CHANNEL

TOKYO GLOBAL GATEWAY

都立高校生の海外派遣

▶ これまでの取組

長期留学支援事業「次世代リーダー育成道場」
(毎年度約200人 北米・オセアニア方面)

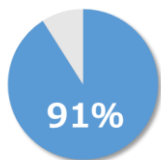
東京体験スクール
(海外から留学生受入
毎年度約100人) など



都立高校生の海外派遣

▶ 次世代リーダー育成道場修了生の追跡調査

「様々な場で、**自分の思いや考えを積極的に伝えている**」



※うち、**88%**が「高校留学による影響が大きい」と回答

「相手の意見や価値観を尊重し、**受け入れることができる**」



※うち、**87%**が「高校留学による影響が大きい」と回答

思春期の多感な時期に、多様な価値観をもつ人と生活を共にしたことで、他人を受け入れ、尊重できるようになった。

修了生のコメント

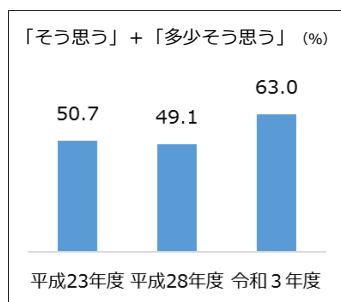


留学を通して、日本の国際化を支える人材になりたいと思うようになった。

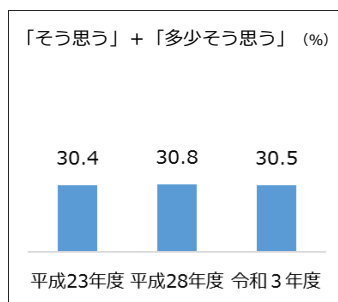
都立高校生の海外派遣

▶ 都立高校生の意識調査

「異なる言語や文化を持つ**外国の人々と交流したい**と思うか」



「将来、**国際社会を舞台に仕事**をしてみたいか」



- ・外国の人々と交流したいと思う高校生は、10ポイント以上増加
- ・将来、国際社会を舞台に仕事をしてみたいと思う高校生は、3割程度で横ばい

都立高校生の海外派遣

令和4年度
の新規事業

都立高校生の海外派遣機会の拡充

目的

高校生同士の交流等を通して、異文化を理解し多文化共生社会の実現に向けた意識を醸成するとともに、他者と協働して世界的な課題の解決に取り組む姿勢を育む。

専門高校海外派遣

- ・海外の最先端技術を視察
- ・知識・技術を高め、よりよい社会づくりに結び付ける

* 派遣国：オーストラリア、
ニュージーランド、
UAE



オリパラ教育継承

- ・オリパラ教育の成果を
パリの子供たちへ継承
- ・豊かな国際感覚の醸成

* 派遣国：フランス（パリ）



多文化共生推進

- ・多様な文化や伝統、技術等を
学び、高校生等と交流
- ・多文化共生の意識を醸成

* 派遣・受入国：UAE、カナダ、
オーストラリア

